

# 1 学年通信 マル

練馬区立石神井西中学校  
令和2年10月30日(金)  
第33号

## 良い集団を目指して

体育実技発表会から始まった今週でしたが、みんな元気いっぱい過ごしていて中学生のパワーはすごいなと思います。行事の後こそ気を引き締めて落ち着いて過ごそうと意識していたところですが、**残念なことが一つ**。水曜日、4階女子トイレのゴミ箱からガムが見つかりました。箱ごと捨てられていたので、食わずに捨てたということでしょう。匂いに気づいた生徒が教えてくれました。翌日、緊急学年集会を開き、どういう経緯で学校に不要物を持ってきてしまったのか、なぜそこにガムを捨てたのか、分からないことが多いままでは集団生活に不安が残るので、**勇気をもって名乗り出てほしい**と呼びかけました。しかし、残念ながら名乗り出る人はいませんでした。今後こういうことが無くなれば良いのですが、**学校のルールを守ることや間違いや失敗は認めることができる**集団になってほしいと願います。

## 式服の時のこと

最近、式服を着る機会が数回ありました。その時に感じた問題点があります。



### ①スカート着用時の靴下の長さ問題

一般的に制服の学校では、靴下も指定となっていて、その際の靴下はハイソックスです。最近、高校生の間でくるぶしのやや上程度の靴下が流行っているのかどうなのか・・・本校でも式服の時に短めの靴下を履く生徒が出てきました。ハイソックスよりうんと短い靴下です。本校では、靴下の長さまでは決められていませんが、やはり式服の際には、ハイソックス(膝下)が適していると思います。

### ②式服の日に体育があると大変だ問題

式服から体育着に着替えるのが手間取るから面倒くさい！と生徒の声。しかし、よく考えてほしい。制服の学校はこれが普通。私服でも式服でも、着替えはテキパキできるようになってほしい。さらに問題が・・・。ほどいたネクタイが結べない!!男性の先生が優しく結んでくれて難を逃れておりました。ネクタイの結び方は家で練習しておきましょう。今後も必ず役に立ちますから。

### ③スカート丈の長さ問題

スカート丈の長さの決まりは膝にかかる程度です。膝が完全に見えているようでは、丈が短いと注意されてしまいます。身長が伸びると、どんどんスカートが短く見えるようになるので、それも考慮して長い丈のものを用意してください。

いずれも、式服の基準は『**受験に行くときの着こなし**』です。きっと、3年生になった時、くるぶし程度の靴下やだらしないネクタイ、短い丈のスカートで入試にはいかないと思います。

私服の学校だからこそ、私服でも式服でも、より良い着こなしを自分で判断することが大切です。『**これくらいはいいんじゃない?**』という判断ではなく、『**より良い方はどれか?**』という基準で考えられることが重要です。

# 体育実技発表会を終わって～生徒の作文～

体育実技発表会でわかったこと

一年F組 重光 汰郎

ぼくは最初、運動会がコロナでなくなっただけで正直うれしかったです。なぜなら、運動会があまり好きではないからです。その後、体育実技発表会ができて、正直めんどくせーなと思いました。でも、体育実技発表会でわかったことがあります。それは、集団行動のすごいところなんです。集団行動と聞くと軍隊や自衛隊での訓練というイメージがどうしてもあります。でも、今回体育実技発表会を終わって集団行動で感動できるものなんだなと思いました。なぜかという、自分一人が見る世界と見る人たちの世界が違うからです。一瞬何を言っているかよくわからないけれど、例としてリレーをしているとします。自分は確かに走ってバトンを渡したただけのように感じるけれど、見ている人からすれば一つのバトンが三十六人を通してつながっている。これはすごいことではないかと今回思いました。マ스ゲームもそうです。自分はただポーズをとったり、回ったりしているだけかもしれないけれど、見ている人からすれば大きな形ができて、動いているように見える。自分たちではわからないけれど、見ている人からすればすごいことをしているんだなと今回思いました。

今回、体育実技発表会を通して、集団行動は一種の規律みたいなものだと思っていただけで、見ている人たちの感動を呼ぶ素敵なものだと分かり、小学校の運動会より学ぶことがあって新鮮だったので、次の運動会はもっとがんばれる気がします。



特別な気持ち

私は、体育実技発表会が終わった今、達成感でいっぱいです。正直、今まで学校行事が楽しみだったことはありませんでした。それに、今回は実技を全校に発表するので失敗できないという強いプレッシャーがありました。練習では、マ스ゲームでなかなか心が一つになれなかったり、リレーでバトンパスをミスしてしまったり、思うように成長できていない自分が、本番が近づくと不安になっていきました。いよいよ当日、一時間目の学活での出来事です。B組は朝からはちまきを試してみながらも気合いが入っていました。そこで先生や体育委員が話しているのを聞いて、私の心の奥に炎が灯ったような気がしました。一位にはなれなくても、全員が全力で走る、この思いで臨んだクラス対抗リレーでは、二位をとることができて本当にうれしかったです。練習のときも二位だったけれど、同じ二位も本番での二位はいつも以上の喜びでした。そしてテイクオーバーゾーンのミスなどが一つもなかったことがさらにうれしかったです。その後のサクセスやカノン、マスゲームも最大を尽くすことができ、始めの頃を振り返ると、今の一瞬のために頑張ってきた、心の中では少し嫌だなと思っていた自分が恥ずかしくも憎くも思えてきたりしました。でも、嫌だなと思っただけで、自分に勝ったような感じがして、大きな達成感を得ました。

今日の体育実技発表会を通して、クラス全員で力を合わせることに、そのために私にもまだ見えない自分になれるように全力で頑張ること、そして、そこから得られる達成感というものを学びました。今日感じたこの特別な気持ちは忘れられないと思います。

先生方、体育委員、実行委員のみなさんにとっても感謝しています。本当にありがとうございました。